

# 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月9日

上場会社名 株式会社テセック

上場取引所 東

コード番号 6337 URI

6337 URL http://www.tesec.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 賢治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 尾亦 利夫 TEL 042-566-1111

定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月9日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日

決算補足説明資料作成の有無:有

決算説明会開催の有無 :有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

### (1)連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高	ī	営業利	益	経常利	益	親会社株主に 当期純利	
2023年3月期	百万円 8.743	% 16. 4	百万円 2, 133	% 22 0	百万円 2.513	% 21. 7	百万円 2, 255	% 30. 9
2022年3月期	7, 512	117. 8	1, 748		2, 065		1, 722	-

(注)包括利益 2023年3月期 2,265百万円 (22.8%) 2022年3月期 1,844百万円 (一%)

	1 株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	399. 88	_	18. 6	18. 5	24. 4
2022年3月期	304. 96	_	16. 6	17. 8	23. 3

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 -百万円 2022年3月期 -百万円

### (2) 連結財政状態

( - / <u>~ ( )   ( )</u>	17 17 CM			
	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	14, 337	12, 907	90. 0	2, 311. 81
2022年3月期	12, 890	11, 300	87. 7	2, 000. 54

(参考) 自己資本 2023年3月期 12,906百万円 2022年3月期 11,299百万円

### (3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による	投資活動による	財務活動による	現金及び現金同等物
	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	1, 445	△117	△676	3, 048
2022年3月期	△117	△825	△58	2, 233

### 2. 配当の状況

	配当金総額	配当性向	純資産配当					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	(合計)	(連結)	率 (連結)
	円銭	円銭	円銭	円銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	-	0.00	_	80. 00	80. 00	451	26. 2	4. 3
2023年3月期	_	0.00	_	100.00	100.00	558	25. 0	4. 6
2024年3月期(予想)	_	_	_	_	_		_	

<sup>(</sup>注) 2024年3月期の配当は現時点で未定ですが、通期で総還元性向35%を目安とした株主還元を予定しております。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

### (%表示は対前期増減率)

	売上	高	営業和	利益	経常和	利益	親会社株主 する当期		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9, 200	5. 2	1, 600	△25.0	1, 640	△34.8	1, 130	△49.9	202. 40

<sup>(</sup>注) 第2四半期連結累計期間の業績予想は行っておりません。

#### ※ 注記事項

- (1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
  - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更:有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無 ④ 修正再表示 : 無
  - (注) 詳細は、添付資料 P. 11「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。
- (3)発行済株式数(普通株式)
  - ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
  - ② 期末自己株式数
  - ③ 期中平均株式数

2023年3月期	5, 778, 695株	2022年3月期	5, 778, 695株
2023年3月期	195, 800株	2022年3月期	130, 500株
2023年3月期	5, 639, 405株	2022年3月期	5, 648, 268株

# (参考) 個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高	i	営業利	益	経常利	益	当期純利	J益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	8, 157	10.0	1, 685	3.8	2, 240	13. 6	2, 092	27. 3
2022年3月期	7, 414	128. 7	1, 624	_	1, 972	_	1, 643	_

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円銭	円 銭
2023年3月期	371. 14	_
2022年3月期	291.00	_

#### (2) 個別財政状態

(参考) 自己資本

(4) 固加剂或	1/1/25			
	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	13, 145	11, 903	90. 5	2, 132. 06
2022年3月期	11, 991	10, 520	87. 7	1, 862. 55

11,903百万円

2022年3月期 10,520百万円

### ※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2023年3月期

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# ○添付資料の目次

1.	経営成績等の概況	2
	(1) 経営成績に関する分析	2
	(2) 財政状態に関する分析	2
2.	会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3.		4
	(1) 連結貸借対照表	4
	(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
	連結損益計算書	6
	連結包括利益計算書	7
	(3) 連結株主資本等変動計算書	8
	(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
	(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
	(継続企業の前提に関する注記)	11
	(会計方針の変更)	11
	(セグメント情報等)	11
	(1株当たり情報)	13
	(重要な後発事象)	13
4.	その他	14
	(1) 受注及び販売の状況	14

### 1. 経営成績等の概況

#### (1)経営成績に関する分析

#### ①当期の経営成績

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和される一方、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化によりエネルギーや原材料価格の高騰、物流の混乱に拍車がかかりました。インフレ鎮静化に向け、米国ではハイペースの利上げが進み、欧州も金融引き締めに動くなか、一部銀行の破綻により信用不安が表面化しました。中国ではゼロコロナ政策が解除され経済活動が正常化に向いましたが、金融緩和の続く日本では数十年ぶりの水準となった円安が輸入物価を押し上げるなど、景気後退への懸念が高まりました。

半導体業界におきましては、中国経済の失速などからパソコンやスマートフォン向け需要が落ち込みましたが、車載向けなどで需要が増加しているパワーデバイスは堅調に推移しました。全体として半導体市況は悪化したものの、 米国による対中半導体輸出規制等、戦略物資としての半導体のサプライチェーンのあり方が各国で意識されるなか、 半導体メーカーの中長期的な投資意欲は継続しました。

このような状況のなか、顧客ニーズに応える製品の開発や投入に注力するとともに、パワーデバイス用テスタやMAPハンドラ、自重ハンドラなどを軸として、顧客基盤拡大に向けた受注活動を展開しました。生産面では、電子部品を中心とした調達難が解消せず、一部出荷計画の遅延や納期要因による失注が発生したことから、部材等の先行発注を増やすとともに、代替品利用のための設計変更や複数社購買を進めました。

以上の結果、受注高は85億85百万円(前期比20.6%減)、売上高は87億43百万円(同16.4%増)、期末受注残高は60億42百万円となりました。製品別売上高はハンドラ46億60百万円(同17.1%増)、テスタ26億20百万円(同23.4%増)、パーツ等14億62百万円(同3.8%増)となりました。

損益面は、原材料価格の高騰に伴う影響があったものの、為替が円安に動いたことから利益率が上昇し、営業利益は21億33百万円(同22.0%増)、外貨建て資産の評価に係る為替差益の計上により、経常利益は25億13百万円(同21.7%増)となりました。また、繰延税金資産および法人税等調整額の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益は22億55百万円(同30.9%増)と、22年ぶりに最高益を更新しました。

#### ②次期の見通し

データセンターの増強、自動車の電動化などのデジタル化、カーボンニュートラルへの取り組みが世界的なトレンドとなるなか、半導体製造装置市場は短期的には変動しつつも、中長期的には堅調な推移が予想されます。2023年の半導体市場は4年ぶりのマイナス成長が予想されていますが、足下で車載用パワー半導体向け装置の引合は堅調に推移しており、高水準の受注残高を抱えております。

次期の連結業績につきましては、直近の事業環境が継続することを前提とし、売上高は92億円と当期比5.2%の増収を見込んでおります。しかし、モデルミックスの悪化、部材価格の高騰、固定費増加や為替影響などにより、営業利益は同25.0%減の16億円を見込んでおります。また、為替差益の剥落により経常利益は16億40百万円(当期比34.8%減)、繰越欠損金の解消等に伴う税金負担の増加により、親会社株主に帰属する当期純利益は11億30百万円(同49.9%減)を予想いたします。

なお、業績見通しの前提となる米ドルの為替レートは当期比9円高の125円、為替感応度は1円安で40百万円程度の 営業利益増と想定しております。

#### ③利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、配当につきましては業績推移等を総合的に勘案しつつ、安定的な配当の継続を基本方針としておりますが、中期計画の対象期間である2022~2024年度におきましては、自社株買いを含めた総還元性向35%を株主還元の目安としております。(法人税等調整額や特別損益等により当期純利益が大きく変動する場合は、総還元性向の算定上、その影響を調整する可能性があります。)

当期の期末配当は、配当予想と同額の100円に決定しました。この結果、当期の総還元性向は概ね35%となります。詳細は、本日公表の「剰余金の配当に関するお知らせ」をご参照ください。

次期の配当は現時点で未定ですが、上記方針にしたがい、通期で総還元性向35%を目安とした株主還元を予定しております。

### (2) 財政状態に関する分析

### ①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は、受取手形および売掛金の回収が進む一方、棚卸資産が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ14億46百万円増加し、143億37百万円となりました。

負債は、仕入増により買掛金が増加した一方、繰延税金負債が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ1 億60百万円減少し、14億29百万円となりました。 純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴い、利益剰余金が増加したことなどから、前連結会計年度 末に比べ16億7百万円増加し、129億7百万円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、下記の各キャッシュ・フローによる増減により、前連結会計年度末に比べ8億14百万円増加し、30億48百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、14億45百万円のプラス(前期は1億17百万円のマイナス)となりました。これは主に、棚卸資産の増加額、法人税等の支払額などのマイナスを、税金等調整前当期純利益の計上、売上債権の減少額などのプラスが上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億17百万円のマイナス(同8億25百万円のマイナス)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、6億76百万円のマイナス(同58百万円のマイナス)となりました。これは主に、配当金の支払および自己株式の取得によるものであります。

### 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。なお、IFRSの適用につきましては、今後の諸情勢を踏まえ、適切に対応する方針であります。

# 3. 連結財務諸表及び主な注記

# (1)連結貸借対照表

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2, 489	3, 136
受取手形	221	22
売掛金	2, 603	1, 891
有価証券	122	725
製品	221	296
仕掛品	1, 586	2,602
原材料	453	702
未収消費税等	242	380
その他	94	147
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	8, 033	9, 903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2, 525	2, 505
減価償却累計額	△2, 212	△2, 207
建物及び構築物(純額)	312	297
機械装置及び運搬具	113	114
減価償却累計額	△100	△105
機械装置及び運搬具(純額)	13	9
工具、器具及び備品	726	709
減価償却累計額	△672	△662
工具、器具及び備品(純額)	53	47
土地	1, 167	1, 134
有形固定資産合計	1, 547	1, 488
無形固定資産	•	,
ソフトウエア	17	18
ソフトウエア仮勘定	_	66
その他	1	1
無形固定資産合計	19	86
投資その他の資産		
投資有価証券	2, 994	2, 474
退職給付に係る資産	84	69
繰延税金資産	_	102
保険積立金	198	191
その他	18	25
貸倒引当金	$\triangle 6$	△4
投資その他の資産合計	3, 290	2,859
固定資産合計	4, 857	4, 433
資産合計	12, 890	14, 337

	前連結会計年度	当連結会計年度
	(2022年3月31日)	(2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	315	38
未払金	118	11
未払費用	120	12
契約負債	200	25
未払法人税等	361	17
賞与引当金	168	19
製品保証引当金	38	3
修繕引当金	41	5
その他	31	3
流動負債合計	1, 395	1, 39
固定負債		
長期未払金	4	
繰延税金負債	190	2
その他		
固定負債合計	195	3
負債合計	1, 590	1, 42
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 521	2, 52
資本剰余金	3, 370	3, 37
利益剰余金	5, 178	6, 98
自己株式	△202	△41
株主資本合計	10, 868	12, 46
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	524	47
為替換算調整勘定	$\triangle 93$	△3
その他の包括利益累計額合計	430	44
非支配株主持分	1	
純資産合計	11,300	12, 90
負債純資産合計	12, 890	14, 33

# (2)連結損益計算書及び連結包括利益計算書 (連結損益計算書)

		(単位:白力円)
	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	7, 512	8, 743
売上原価	4, 163	4, 652
売上総利益	3, 348	4, 090
販売費及び一般管理費		
販売手数料	232	280
荷造運搬費	66	59
役員報酬	123	139
株式報酬費用	_	17
給料手当及び賞与	402	464
法定福利費	59	66
賞与引当金繰入額	46	55
修繕引当金繰入額	40	59
減価償却費	17	19
研究開発費	240	348
貸倒引当金繰入額	$\triangle 0$	$\triangle 0$
その他	373	447
販売費及び一般管理費合計	1,600	1, 957
営業利益	1,748	2, 133
営業外収益		
受取利息	29	77
受取配当金	38	36
為替差益	223	235
投資有価証券売却益	23	29
その他	13	16
営業外収益合計	328	394
営業外費用		
保険解約損	5	8
支払手数料	3	3
その他	1	2
営業外費用合計	10	14
経常利益	2, 065	2, 513
特別損失		•
減損損失	_	52
固定資産除却損	<u> </u>	4
特別損失合計		56
税金等調整前当期純利益	2,065	2, 456
法人税、住民税及び事業税	332	435
法人税等調整額	10	△234
法人税等合計	343	201
当期純利益	1,722	2, 255
非支配株主に帰属する当期純利益		
	1 700	0 055
親会社株主に帰属する当期純利益	1,722	2, 255

# (連結包括利益計算書)

(连州已)[四川三川 茅首)		
		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	1,722	2, 255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	△51
為替換算調整勘定	91	61
その他の包括利益合計	121	10
包括利益	1,844	2, 265
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1, 844	2, 265
非支配株主に係る包括利益	0	0

# (3)連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

		株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	2, 521	3, 370	3, 512	△202	9, 202	
当期変動額						
剰余金の配当			△56		△56	
親会社株主に帰属する当期 純利益			1,722		1,722	
自己株式の取得				△0	△0	
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)						
当期変動額合計	_		1,666	△0	1,665	
当期末残高	2, 521	3, 370	5, 178	△202	10, 868	

	ž	その他の包括利益累計額	頁			
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計	非支配株主持分	純資産合計	
当期首残高	494	△184	309	1	9, 513	
当期変動額						
剰余金の配当					△56	
親会社株主に帰属する当期 純利益					1,722	
自己株式の取得					△0	
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)	30	91	121	0	121	
当期変動額合計	30	91	121	0	1, 787	
当期末残高	524	△93	430	1	11, 300	

# 当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2, 521	3, 370	5, 178	△202	10, 868
当期変動額					
剰余金の配当			△451		△451
親会社株主に帰属する当期 純利益			2, 255		2, 255
自己株式の取得				△229	△229
自己株式の処分		5		18	23
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)					
当期変動額合計	_	5	1,803	△211	1, 596
当期末残高	2, 521	3, 376	6, 982	△414	12, 465

	ŧ	その他の包括利益累計額	質		
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	524	△93	430	1	11, 300
当期変動額					
剰余金の配当					△451
親会社株主に帰属する当期 純利益					2, 255
自己株式の取得					△229
自己株式の処分					23
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)	△51	61	10	0	10
当期変動額合計	△51	61	10	0	1,607
当期末残高	472	△31	441	1	12, 907

# (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

		(単位:百万円)
	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 2021年4月1日	(自 2022年4月1日
N. May ( 1 ) - 1 y 1.	至 2022年3月31日)	至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	0.000	A .=4
税金等調整前当期純利益	2, 065	2, 456
減価償却費	52	65
減損損失		52
株式報酬費用	_	17
貸倒引当金の増減額(△は減少) 受取利息及び受取配当金	△0 ^67	△0 △112
	△67 △86	△113
為替差損益(△は益)	—··	△117
投資有価証券売却損益(△は益)	$\triangle 23$ $\triangle 0$	△29
固定資産除売却損益(△は益)		4
売上債権の増減額(△は増加)	△1, 575	922
棚卸資産の増減額(△は増加)	△695	△1, 325
仕入債務の増減額(△は減少)	62	53
未収消費税等の増減額 (△は増加) 未収入金の増減額 (△は増加)	△170 0	△138
未払費用の増減額(△は減少)	18	$\triangle 0$
<ul><li>木仏貨用の増減額 (△は減少)</li><li>製品保証引当金の増減額 (△は減少)</li></ul>	18 7	
要而休証り目並の増減額(△は減少) 退職給付に係る資産の増減額(△は増加)		△1 15
逐転桁付に係る資産の増減額(△は増加) 修繕引当金の増減額(△は減少)	$\triangle 25$	
長期未払金の増減額(△は減少)	3	17
で 対示 な を の 他 の 流動 資産 の 増減 額( △ は 増加)		$\triangle 3$ $\triangle 24$
その他の流動負債の増減額(△は減少)	265	80
その他の固定資産の増減額(△は増加)		7
その他の固定負債の増減額(△は減少)		8
てい他の固定負債の指例領 (△は例グ) 小計		
	<u>△159</u>	1,955
利息及び配当金の受取額	65	109
法人税等の支払額 法人税等の還付額	$\triangle 36$	△619
	,	1 445
営業活動によるキャッシュ・フロー	△117	1, 445
投資活動によるキャッシュ・フロー	A 22	A 0
定期預金の預入による支出	$\triangle 66$	<u>△</u> 0
定期預金の払戻による収入	<del>-</del>	178
有価証券の取得による支出	_	△425
有価証券の売却及び償還による収入		110
投資有価証券の取得による支出	$\triangle 1, 109$	△593
投資有価証券の売却及び償還による収入	382	769
有形固定資産の取得による支出	△30	$\triangle 64$
有形固定資産の売却による収入	0	
無形固定資産の取得による支出	△5 ^ 71	△82 △61
保険積立金の積立による支出	$\triangle$ 71 75	△61 60
保険積立金の解約による収入		
その他	<u> </u>	<u>△10</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△825	△117
財務活動によるキャッシュ・フロー	A 2	A 000
自己株式の取得による支出	△0 ^50	△229
配当金の支払額	△58	△446
非支配株主への配当金の支払額		<u>∆0</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58	△676
現金及び現金同等物に係る換算差額	156	163
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△845	814
現金及び現金同等物の期首残高	3, 079	2, 233
現金及び現金同等物の期末残高	2, 233	3, 048
光並及0分並同子物の別不及同	2, 233	3,048

### (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

#### (会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、連結財務諸表に与える影響はありません。

### (セグメント情報等)

#### 【セグメント情報】

当社グループは、半導体検査装置の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

#### 【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	ハンドラ	テスタ	パーツ等	合計
外部顧客への売上高	3, 978	2, 124	1, 409	7, 512

### 2. 地域ごとの情報

### (1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	台湾	マレーシア	欧州	米州	その他	合計
1, 482	2, 037	178	2,000	295	139	1, 378	7, 512

<sup>(</sup>注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

### (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、 記載を省略しております。

# 3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
TEXAS INSTRUMENTS MALAYSIA SDN. BHD.	1, 340	半導体検査装置
TEXAS INSTRUMENTS SEMICONDUCTOR MANUFACTURING (CHENGDU) CO. LTD.	1, 144	半導体検査装置

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

### 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	ハンドラ	テスタ	パーツ等	合計
外部顧客への売上高	4, 660	2, 620	1, 462	8, 743

### 2. 地域ごとの情報

### (1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	台湾	マレーシア	欧州	米州	その他	合計
1, 290	1, 132	259	3, 551	304	1, 651	552	8, 743

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

#### (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、 記載を省略しております。

### 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名	
TEXAS INSTRUMENTS MALAYSIA SDN. BHD.	3, 076	半導体検査装置	
INFINEON SOUTHEAST ASIA P/L	1, 226	半導体検査装置	

# 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】 前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

事業セグメントが単一であるため、報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報の記載を省略 しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】 該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】 該当事項はありません。

# (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	2,000.54円	2, 311. 81円
1株当たり当期純利益	304.96円	399.88円

- (注)1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
  - 2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,722	2, 255
普通株主に帰属しない金額(百万円)	_	_
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利 益(百万円)	1,722	2, 255
普通株式の期中平均株式数(千株)	5, 648	5, 639

# (重要な後発事象)

該当事項はありません。

# 4. その他

# (1) 受注及び販売の状況

# ① 受注実績

当連結会計年度の受注実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	受注高	対前期増減率 (%)	受注残高	対前期増減率 (%)
ハンドラ(百万円)	4, 172	△29. 3	2, 853	△14.6
テスタ (百万円)	3, 202	△0.3	2, 829	25. 9
パーツ等(百万円)	1, 210	△28.8	359	△41.2
合計 (百万円)	8, 585	△20. 6	6, 042	△2.5

<sup>(</sup>注) 金額は販売価格によっております。

# ② 販売実績

当連結会計年度の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	対前期増減率(%)
ハンドラ (百万円)	4, 660	17. 1
テスタ (百万円)	2, 620	23. 4
パーツ等(百万円)	1, 462	3.8
合計 (百万円)	8,743	16. 4

<sup>(</sup>注) 金額は販売価格によっております。